

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成27年9月10日 (2015.9.10)

【公表番号】特表2013-543975(P2013-543975A)

【公表日】平成25年12月9日 (2013.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-066

【出願番号】特願2013-538807(P2013-538807)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/30 (2006.01)

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

G 0 1 N 27/327 (2006.01)

G 0 1 N 27/26 (2006.01)

G 0 1 K 1/14 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 27/30 Z

G 0 1 N 27/46 3 3 8

G 0 1 N 27/30 3 5 3 J

G 0 1 N 27/26 3 7 1 B

G 0 1 K 1/14 L

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年7月23日 (2015.7.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンタクト結合部分及びセンシング部分を有する第一の電極、  
 コンタクト結合部分及びセンシング部分を有する第二の電極、  
 前記第一の電極及び前記第二の電極の前記各センシング部分と接触する状態で提供され、  
 それらの間に延伸されるアクティブ領域、ならびに  
熱電対部分を含む熱電対、を含み、  
前記熱電対部分は、前記アクティブ領域から前記第二の電極の前記コンタクト結合部分  
までの導回路の少なくとも一部を含み、  
前記熱電対部分が前記第二の電極と一体に設けられており、前記熱電対の他の部分が前  
記第一の電極の少なくとも一部を含む、分析対象物センサ。

【請求項 2】

前記第一の電極が作用電極を含み、前記第二の電極が対極電極又は参照電極を含む、請求項 1 記載の分析対象物センサ。

【請求項 3】

前記各コンタクト結合部分が前記分析対象物センサの二つだけの各コンタクト結合部分である、請求項 1 記載の分析対象物センサ。

【請求項 4】

ベースを含み、前記第一の電極及び前記第二の電極が前記ベースに沿って延伸されている、請求項 1 記載の分析対象物センサ。

【請求項 5】

前記第一の電極と前記第二の電極との間に延伸されるヒューズ部材を含み、前記ヒューズ

ズ部材が前記一の電極と前記第二の電極とを電氣的に接続している、請求項 1 記載の分析対象物センサ。

【請求項 6】

前記ヒューズ部材が、250 mV未満である溶断特性値を有する、請求項 5 記載の分析対象物センサ。

【請求項 7】

前記ヒューズ部材が、分析対象物計測試験中に前記アクティブ領域を跨いで受電されるように適合された定電圧バイアス未満である溶断特性値を有する、請求項 5 記載の分析対象物センサ。

【請求項 8】

コンタクト結合部分及びセンシング部分を有する作用電極、  
コンタクト結合部分及びセンシング部分を有する対極電極又は参照電極、  
作用電極及び前記各対極電極又は各参照電極の前記センシング部分と接触する状態で提供され、それらの間に延伸されるアクティブ領域、ならびに

熱電対部分を含む熱電対、を含み、前記熱電対部分は、前記対極電極又は参照電極の前記コンタクト結合部分とセンシング部分との間に接続され、前記対極電極又は参照電極の導電路の少なくとも一部を含む、分析対象物センサと、

前記コンタクト結合部分と電氣的に接触する状態に提供された温度計測回路とを含み、

前記熱電対部分が前記対極電極又は参照電極と一体に設けられており、前記熱電対の他の部分が前記作用電極の少なくとも一部を含む、分析対象物試験システム。

【請求項 9】

分析対象物センサを製造する方法であって、  
ベースを提供するステップ、  
第一の材料を含む第一の電極を前記ベース上に形成するステップ、  
前記第一の材料とは異なる第二の材料の熱電対部分を含む第二の電極を前記ベース上に形成するステップ、及び

アクティブ領域を前記第一の電極及び前記第二の電極と接触する状態で被着させるステップ

を含み、前記熱電対部分が前記アクティブ領域からの導電路の少なくとも一部であり、

前記熱電対部分が前記第二の電極と一体に設けられており、熱電対の他の部分が前記第一の電極の少なくとも一部を含む、方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0031

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0031】

図示される実施態様において、第二の電極 114 のセンシング部分 118 は、アクティブ領域 120 との電氣的接触を形成する構成を含む。たとえば、アクティブ領域 120 は、センシング部分 112 と対向する状態で位置するセンシング部分 118 の端部の上に提供 / 被着されることができる。第二の電極 114 は、分析対象物試験計器（たとえば、図 2A ~ 2B に示す分析対象物試験計器 202）の電氣的コンタクトと電氣的に接触するように適合されているコンタクト結合部分 116 を第一端 104 に含むことができる。第一端 104 と第二端 106 との間には、第二の電極 114 のセンシング端 118 とコンタクト結合部分 116 との間に延伸される熱電対部分 126 がある。図示される実施態様において、熱電対部分 126 は、センシング部分 118 上のコールド側センサ接合部 126A とコンタクト結合部分 116 上のホット側センサ接合部 126B との間に接続されている。熱電対の他の部分は、第一の電極 108 の一部を含む。